



## 県民カレッジ高岡地区センター 「ウイング・ウイング祭」 展示発表

10月30日(金)～31日(土) 高岡ウイング・ウイング7階にて  
主催 高岡地区生涯学習団体協議会  
「富山県の名水マップ」や機関紙・自遊塾の名水探訪アルバム等を  
展示し、当会の活動を紹介しました。



## 【本の紹介】 「本を読む人だけが手にするもの」

中嶋 昭三

新型コロナにより新しい生き方が求められています。名水を守る会の会員の皆様の参考になる本の紹介です。

### 「本を読む人だけが手にするもの」

藤原和博著、日本実業出版社、2019年7月1日第9刷発行、1,400円(税別)

はじめに

序章 成熟社会では本を読まない人は生き残れない

### 目次

第1章 本を読むと何が得か?

第2章 読書とは「他人の脳のかげら」を自分の脳につなげること

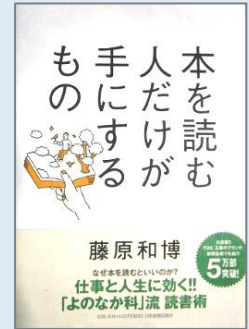
第3章 読書は私の人生にこんなふう役に立った

第4章 正解のない時代を切り拓く読書

第5章 本嫌いの人でも読書習慣が身につく方法

あとがきにかえて

付録 藤原和博の「これだけは読んでほしい」と思う本・50冊



### 【私の読書歴】

・私は、本を読むとき、読書記録として読みながら自分の感想を「Word文書に入力」している。(平成15年ごろより今まで継続)最近、フェイスブックにアップしている。  
・何と300冊は越えており、この体験をベースに自遊塾講座として、今年(令和2年10月)開設することが出来た。

### 【3つのポイント】

- ・「なぜ本を読むといいのか」について考える本である。
- ・成熟社会では自らの「幸福論」を自分で見つけていくしかない。
- ・「趣味としての読書」から「人生を切り拓くための読書」へ変えよう。

### 【これからの本の選び方と読み方】

- ・ベストセラー本がお勧め。ベストセラー本にはそれなりの理由がある。
- ・本の受け止め方は読むときどきによって変わる。
- ・確実に良い本に出合うための方法はあるか? →質より量(目安は300冊)  
この本では、「300冊」がキーワードになっている。
- ・習慣化されるまでは、ある種の「努力による習慣化」も必要です。

## 名水漫歩⑱

### しょうず 名水公園の清水 黒部市飯沢

黒部漁港前にある公園内に位置している。黒部漁協港直販施設『魚の駅「生地」』にも隣接しているので毎年多くの人々が訪れ、美味しい水が飲める公園として親しまれている。

さらに生地地内の清水を巡る街歩きの出発点にもなっている。

水質は硬度38、pH7である。(岡岸 記)

### 名水公園に東屋完成



東屋の完成を祝う関係者

9月27日  
北日本新聞記事より  
東屋は高さ約3.5m屋根幅約5m。中に清水が湧き出る水飲み場がある。生地自治振興会が市や県の協力を得て建設し、資材の一部はYKKから寄付を受けた。

### 新入会員の紹介

大井タミ子さん・山井久子さん・白本和美さん  
よろしく お願いいたします。  
令和2年12月1日現在 会員数 56名

### ホームページのアドレス

<http://www.toyama-meisui.jp/ml.html>

又は「富山の名水を守る会」で検索

(担当: 中嶋昭三)

NPO法人 富山の名水を守る会 事務局  
〒939-0305  
富山県射水市鷺塚142番地24  
Tel・Fax (0766) 55-0056